

-----2月22日-----

## 今週のアウトルック(2/22～2/26)

2/19の米国時間では遅い時間に、米国の公定歩合引き上げが発表されました。セオリー通りであればドル高株安というところだと思いますが、金曜日の相場終了時に近い時間だったので、今週の動きにどう影響が出るのか注目したいと思います。

基本的にはドル高の動きが進むとは考えられるのですが、どこまで進むのか、急激な進み方なのかゆっくりとした進み方なのかは予想しづらいところだと思います。NYダウがもし急落した場合、無関係にドル円の上昇ということは想定しづらく、不安定な動きになることも考えられます。あまり決めつけてかかることは避けた方が良いでしょうと思います。

ドル円の予想レンジは90円から94円です。

ユーロドルは公定歩合引き上げの影響を大きく受けそうです。ギリシャ問題が依然として先行きが読めない状態で、ドルの上昇がユーロ売りを誘う可能性は十分にあります。ユーロドルが1.35を抜けてしまうと、一気に1.3まで進んでしまう可能性は高いように思います。ユーロ円の場合は、クロス円の円安が進む中、ユーロ円だけ少しずつ円高が進む状況になるかもしれません。

ユーロ円の予想レンジは120円から125円です。

ポンド円はドルに波長を合わせるか、ユーロに波長を合わせるのか難しいところだと思います。週の前半はドル上昇に波長を合わせそうですが、後半は欧州の危機報道に左右される可能性が高いように思います。もうひとつ、139円あたりを完全に抜けてしまった場合は、これといったサポートラインが見当たらないので、一気にポンド安が進む可能性も考慮しておくべきだと思います。

ポンド円の予想レンジは140円から145円です。

米国公定歩合の引き上げは相場に影響はあまりないという見方が多いようですが、NYダウの大きな動きにつながる可能性も考慮すべきだと思います。その場合、為替も想定された方向と逆に行ってしまうことも考えられるので、十分な注意が必要ないように思います。

### \* 免責事項 \*

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。